

開催実施要項

- 1 大会名 令和3年度 福岡県高等学校自転車競技新人大会
 - 2 主催 福岡県高等学校体育連盟 福岡県教育委員会 福岡県自転車競技連盟
 - 3 後援 (公財)日本自転車競技連盟 (一社)九州自転車競技連盟 久留米市
 - 4 主管 福岡県高等学校体育連盟自転車競技専門部
 - 5 期日 令和3年10月16日(土) 17日(日) 雨天決行
10月16日(土) 8時00分監督会議 9時00分競技開始
10月17日(日) 8時00分集合 9:00 競技開始
 - 6 会場 久留米市 久留米競輪場(周長 400m)
 - 7 競技規則 (公財)日本自転車競技連盟規則に準ずる
 - 8 競技種目 男女共通 SP TT KM IP SH 男子 PR
 - 9 引率・監督について
(1)引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、助教諭、実習助手、常勤講師、部活動指導員(地方公務員法第22条の2に示された者)又は校長とする。個人の場合は校長の認める当該校又は他の学校の副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、助教諭、実習助手、常勤講師、部活動指導員(地方公務員法第22条の2に示された者)又は校長とする。
- 10 参加資格
- (1)選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。
 - (2)選手は、本連盟加盟校の生徒で、本開催要項により参加資格を得たもの。
 - (3)日本自転車競技連盟に登録された者(チーム)であること。
 - (4)年齢は、2003年(平成15年)4月2日以降に生まれた者とする。ただし出場は同一競技2回迄とし、同一学年での出場は1回限りとする。
 - (5)チーム編成は、全日制課程と定時制課程の生徒の混成を認めない。
 - (6)統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
 - (7)転校後6か月未満のもの参加は認めない。(外国留学生もこれに準ずる)。ただし一家転住等やむを得ない事由による場合は自転車専門委員会にて調査し高体連会長の承認があればこの限りでない。
 - (8)出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校長の承認を必要とする。
 - (9)その他の事項については、全国高等学校体育連盟・九州高等学校体育連盟大会開催基準要項の参加資格に準ずる
 - (10)参加資格の特例
ア. 上記(1)(2)に定める生徒以外(3)~(9)の大会参加資格を満たし、且つ本連盟が承認し生徒については、別途に定める規定に従い大会参加を認める。
イ. 上記(4)のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技2回限りとする。
ウ. 学年の区分を設けてある課程に在籍する生徒の出場は、2学年までとする。
- 1.1 参加制限 監督1名他メカニシャン1名
- 1.2 参加申込
- (1) 高体連の参加申込書に記載されている生徒個人情報について
利用目的 ①大会競技プログラムまたは福岡県高体連HPへの掲載
②参加資格の確認
③競技成績については学校名・氏名・成績(記録)のみ公表する事とする。
※参加申込書の提出により、申込書記載の生徒の個人情報は、上記利用目的に使用する旨の承諾を得るものとする。
 - (2) 申込先: 〒830-0052 久留米市上津町2192 祐誠高等学校内
福岡県高等学校体育連盟自転車競技専門部 月成憲一宛
TEL 0942-22-1238 FAX 0942-22-1239
 - (3) 申込期限: 所定の申込用紙に記入し、10月8日(金)までに上記へご送付下さい。
- 1.3 参加負担金

参加負担金は個人（1人）500円を県高体連より学校へ請求しますので、現金の直接のやり取りはありません。

14 表彰 個人総合8位まで

15 取得制限 各種目8位までが全九州高校新人大会への出場権を獲得する。

※問合せ先 祐誠高等学校 月成憲一 TEL 0942-22-1238

大会開催に伴う新型コロナウイルス感染防止対策について

大会参加者の共通予防対策

1. 大会参加について

- 選手、監督、コーチ、運営スタッフ等（以下、大会参加者とする）の中に感染者が確認された学校については、大会へ参加することはできない。
- 大会参加者は、過去2週間以内に県外へ行っていないこととし、大会の2週間前から検温結果及び、体調について別紙の体調管理表に記録し、体調不良や発熱等の風邪の症状がある場合は参加できないことを事前に周知する。また、大会当日大会本部へ体調管理表を提出する。

2. 移動・宿泊について

- 大会参加者は、移動の際、可能な限り周囲との間隔を空けることとし、必ずマスクを着用する。併せて可能な限り換気に努める。
- 大会参加者は、大会が連日開催となる場合でも、宿泊を行わない。

3. 感染予防のための4つの基本行動

- 体調管理とその報告
- マスクの着用
- 人と人との距離を確保
- こまめな手洗い、手指消毒

大会開催中の予防対策について

1. 選手、監督、コーチの感染予防対策

(1) 集合時の感染予防対策

- 大会参加者は、必ずマスクを持参し、着用する。
- 大会参加者は、施設に出入りする際、手指消毒剤をする。
- 大会参加者は集合時に体調をチェックし、体調不良や発熱等の風邪の症状がある場合は参加しない。
- 格納庫は機材の出し入れ時のみとし、整備等での利用はしない。

(2) 大会受付時の感染予防対策

- 受付等において、参加者同士が十分な距離を確保して並び、受付する。
- 選手個人での受付はなるべくせず、各校顧問が代表して行う。
- 受付時に、健康調査表、大会当日体調チェックシートを各校でまとめて提出する。

(3) 待機中の予防対策

- 参加者は必ずマスクを持参し、スポーツを行っていない待機中や会話をする際はマスクを着用する。天候条件により、息苦しさを感ずるようであれば、マスクを無理に着用しない。
- 参加者は、個人間の距離（できるかぎり2m以上）を確保して待機する。
- 大会中に大きな声で会話、応援等をしないこと。
- ウォーミングアップ及び、試合中のみマスクを外すことができる。
- 試合の前後だけでなく試合中にも、こまめな手洗い又は、消毒を行う。
- タオルの共用はしないこと。
- 選手は指定された待機場所を利用し、個人間の距離を確保して過ごす。
- 飲食は指定の場所以外で行わず、対面を避け、周囲の人となるべく距離をとって、会話をなるべくせず、速やかに食事を完了する。
- 更衣室は、1回に利用できる人数は1名とし、換気をしながら使用する。

○トイレ使用時はふたを閉めて汚物を流すようにし、手洗いは石けんを用い 30 秒以上しっかり手指を洗浄すること。

(4) 試合中の感染予防対策

- 監督、コーチ、選手、運営スタッフは必ずマスクを着用する。
- 選手は、ウォーミングアップ及び、試合中のみマスクを外すことができる。
- 試合の前後だけでなく試合中にも、こまめな手洗い又は、消毒を行う。
- 運動時、またそうでない時も周囲の人と距離を空けること。
- 試合中、選手どうしは前走者の人の呼気の影響を避けるよう、位置取りに注意する。
- 試合中、選手は唾や痰を吐くことを極力しない。
- 試合中、選手、監督、コーチは大きな掛け声、応援等をしないこと。

(5) 試合後の感染予防対策

- 開閉会式・表彰式を実施する場合は密集とならないよう、参加人数を制限し速やかに執り行う。
- 参加者等に感染者が発生した場合には、参加者等に連絡を取り、症状の確認がとれる体制を確保する。また、参加した者は保健所などの聞き取りに協力する。
- ミーティングなどにおいて、長時間密にならないように配慮する。

2. 観客に対する感染予防対策

観客を入れる場合は保護者のみとし、事前申請等により観客を限定し、観客名簿を作成し確認の上、当日入口にて許可証等を発行するとともに、以下の内容について事前に周知する。

(1) 受付時の感染予防対策

- 大会参加者は、必ずマスクを持参し、着用する。
- 大会当日の朝、必ず検温し、発熱等の風邪の症状がある者は、施設利用できない。

(2) 試合観戦時における予防対策

- 観客は必ずマスクを着用し、周囲との間隔を十分空けるとともに、集団となつての応援、ならびに発声による応援は行わない。
- 大会当日の朝、必ず検温し、発熱等の風邪の症状がある者は、来場できない。
- バック側スタンドで飲食をする際は、対面を避け、周囲の人となるべく距離をとって、会話を控えめにし速やかに食事する。また、水分補給は個人のものを用意し、まわし飲みはしない。
- タオルは個人で準備し、共用しない。
- 上記の対応を守れない観客は退場いただく。
- 参加者等に感染者が発生した場合には、参加者等に連絡を取り、症状の確認がとれる体制を確保する。また、参加した者は保健所などの聞き取りに協力する。

★その他

- (1) 上記の感染防止対策は、最低限のお願いです。
- (2) 観客、選手、役員がそれぞれ感染防止対策、咳エチケット等を常に意識し徹底して行って下さい。
- (3) 大会前の 2 週間は体温を測り、異常があった際は医療機関に相談し、指示を仰いで下さい。
- (4) 大会終了後、2 週間以内に新型コロナ感染症と診断された場合は、事務局にご連絡下さい。